

# 令和元年度 第3回旭市学校再編計画策定委員会 会議録

1 期 日 令和元年10月30日(水) 開会 午後1時30分  
閉会 午後4時00分

2 場 所 海上公民館1階 第1研修室

## 3 出席者

会	長	加瀬 正彦 (副市長)
副	長	伊藤 啓子
委	員	富山 理
委	員	伊藤 英希
委	員	滑川 健雄
委	員	石毛 宏典
委	員	渡邊 錦一
委	員	小倉 和也
委	員	伊藤 義隆 (財政課長)
委	員	井上 保巳 (行政改革推進課長)
員	員	加瀬 政吉 (学校教育課長)

### 《事務局》

庶務課長	栗田 茂
庶務課副課長	飯島 和則
庶務課施設班班長	八馬 裕樹
庶務課施設班副主査	林 義樹
庶務課施設班副主査	小林 尚嘉
庶務課施設班主事	勝又 智紀
学校教育課指導班班長	岩井 玲

※傍聴人：0名

## 4 開 会

### ・事務局

それでは第3回旭市学校再編計画策定委員会を開催いたします。今日は〇〇委員が少し遅れるとご連絡をいただいておりますので、このまま会議のほうをはじめさせていただきます。会議の前に会長であります加瀬副市長からご挨拶申し上げます。副市長、よろしくお願いいたします。

## 5 副市長あいさつ

月末の大変お忙しいところご出席いただきまして、本当にありがとうございます。10月2日の学校の訪問、急遽、災害の関係で東京に行かなければならなくなってしまいました、欠席してしまいました。この場でお詫び申し上げます。ご覧になっていただいて、それぞれご意見いただいたと思いますので、それらについては事務局のほうでしっかりとまとめて、また今日もそれに関する意見交換をするということで議題の中に入れてございますので、よろしくお願ひしたいと思います。それと第1回の時にご要望のありました、資料それから特にあれですね、保育所のあり方の件のお話がありましたので、それを出していること、それと必要なものということで、実は庁内でこれまで協議をしていたもの、これを行政改革推進課でまとめたものがありました。これは、内部の資料であったわけですが、何も無いなかで再編の話をするというのは非常に難しいということがありまして、今回、その図それから文章を整理したものを表として出しておりますけれども、これらを例示という形でお出ししているところでもあります。それらもまたご覧いただきまして、ご意見をいただければよろしいのかなど、そのように思います。本日の会議が実のあるものになりますよう、是非、忌憚の無いご意見をいただいて、この先の再編につなげていければなと思いますので、よろしくお願いいたします。

## 6 議事

### ・事務局

議事に入ります前に事務局よりお断りをさせていただきます。本日の委員会につきましては、「旭市審議会等の会議の公開に関する要綱」第3条により原則公開するものとなっております。しかしながら、本日は傍聴人がおりませんので、引き続き会議を進行させていただきます。それでは委員会要綱に沿って、これ以降の議事については、副市長に進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

### ・議長

それでは、しばらく議事進行を務めたいと思います。次第の2ですね。「(1) 第1回委員会の質問に対する説明」ということで、これに対して事務局から説明をお願いします。

### ・事務局 議題(1)

「旭市公立保育所あり方検討委員会報告書」を配付資料により説明

### ・議長

事務局の説明が終わりました。保育所のあり方検討委員会の報告書について、何かお気づきの点、それから気になるところ、そういうところがあればご意見をいただきたいと思います。まず、一つ

だけ言い訳になってしまうかもしれませんが、短期的に実施するものということで、平成29年の8月にいただいたんですけれども、その中で海上保育所、これは非常に老朽化して危険でございました。そのこのところの検討を実は廃止という方向でこのあり方では出されていたんですけども、実は隣接する滝郷診療所の関係がございまして、その中で、特色のある保育が出来るのではないかと、そういう検討がなされまして、病児・病後児保育、そこに特化した形で隣接して建設することによって、これから需要が見込めるだろう、そういった子供たちの受け皿にしていきたい、そういう意向が出されまして、その中で今、海上保育所は再建築をしている状況にあります。それ以外の保育所については、ある程度この報告書に沿った形でいけるのかな、ということもあるんですけども、まだ完全にこうなりますということではありませんので、一応補足して説明させていただきました。

実際には、第1回するときにもうひとつ、ICTであるとか他市の状況とかそういうところもありますので、それも合わせて説明をいたしまして、それらを含めてご意見等をいただきたいと思いません。

・事務局 議題（1）

「旭市の目指している教育」「ICT教育及びICTの活用」

「他市の状況」

を配付資料により説明

・議長

はい、ちょっと駆け足になってしまいましたけども、資料の1、2、3と説明がありました。特に他市の状況ということで、成田と山武、今回非常に大きな災害で被害を受けているということで、まだこちらのほうに回答いただけていないという状況でありましたので、香取市の状況だけ表にまとめてあるという状況です。これらについて、いま説明したなかで、気になる点、それから確認したい点、あとご意見を含めてあればお伺いしたいと思います、いかがでしょうか。

結構資料が多かったので、一気に見るのが大変かなという気もします。

・委員

1点よろしいですか。資料の3で他市の状況のところですけども、例えば統合した場合、おそらく今まで学校に通っていたわけですから、例えば4校が3校になった場合、マイクロバス4台でその地区に集まってというイメージだったんですけども、13台というとかかなり多い気がしますけども、これはもっときめ細やかな送迎ということでやっているのでしょうか。

・事務局

いま財政課長よりスクールバスの件でご質問がありました。先日香取のほうにヒアリングに行ってきたんですけども、このスクールバス以外にも道の狭い所はワゴン車を使って送迎というところで、ただそのワゴン車がどのくらいというボリュームまでは確認しておりませんので、また機会があれば確認したいと思います。以上です。

・ 委員

そうするとマイクロバス以外にもワゴン車を使っている。これ以上のきめ細かい送迎をやっているということですか。

・ 事務局

そうです。ただ、どのくらいのネットワークとかは確認できておりませんので、また機会がありましたら確認したいと思います。

・ 委員

山田小学校の場合は、旧山田町の5つの小学校が統合して1つのまっさらの新しい小学校ができたということによろしいでしょうか。

・ 事務局

そうです。

・ 議長

裏の図面で、旧山田町の区域にあった5つの小学校が1つになって山田小になったということですよ。

・ 事務局

はい。

・ 委員

こちらのほうの距離関係を教えていただいてもいいですか。マイクロバスはおそらく何km以上マイクロバス使用、その他は歩いてくださいということがあると思うんですが。

・ 事務局

距離の関係は、基準として文科省の片道4kmということがあるんですが、香取市さんに聞いた限りですと、距離というよりは山武市さんもそうですけど、希望する子がいましたら、スクールバスの経路の集まれるところにバス停みたいな所を設けて、距離関係なしに乗りたい子は乗る、という判断をされているということでした。

・ 議長

マイクロバスのルート上にバス停を設けて、そこに集まった子供たちを乗せてくるということ。

・ 事務局

そうです。それもPTAとかそういった地元の保護者が集まってルートと場所が決められているということです。バス停につきましては、バス停を置かないという自治体と置くという自治体がありまして、安全上、置くべきか置かないべきかという議論が、考え方が違い等ありまして、ある程度ここに集まってくださいということで特に印を設けない自治体もありますし、バス停を標識として立てているというところもありました。

・ 委員

マイクロバスというのは、送迎のみの使用ということなのではないでしょうか。他に用途は、要は朝使つて帰りもあるわけですよ、その間の期間は。

・ 事務局

いま香取市さんというお話だったんですけども、山武市さんのほうも、学童が別のところにあるということで、夕方にはその学童の別の施設に送迎という活用もしているということでお伺いしています。ですので、朝行って夕方というところと、学童の間は学校に停めている状況です。

・ 委員

スクールバスありきで話をしちゃうと固まっちゃうんで、もしあれでしたら循環バスも活用できるとか、違う考えもしたらどうでしょうか。たぶん朝1本出せばいいんじゃないかと、5本とか出さなきゃいけないと思うんですよ。そうした場合、それを継続するために循環バスとかを活用すればまだいいのかなと思ったのですが。そうじゃなかったら、旧学校まで行って、旧学校からスクールバスでもピストンで輸送するというのは他市でやっているのはちょっと聞いたことがあります。

・ 議長

仮にバスを入れるとなった時には、利用の方法・手法というのはきちんと地域と話し合っただけで決まってしまうので、その辺は例えば循環バスがうまく活用できるルートで乗れるのであれば、それはひとつの案であると思いますので、その辺はしっかりと記録を取っておいて、仮に登校するという形になった時には、そういったことも含めて考えていくということにさせていただきたいなと思います。ありがとうございます。その他、ご意見ございますか。

・ 委員

保育所の関係でちょっとお伺いしたいんですけども、干潟保育所のほうなんですけども、指定管理はどういった感じで、どこへ指定しているのでしょうか。

・ 議長

それは私がお答えします。こひつじ幼稚園さんをご存知ですかね。干潟保育所につきましては、建物は市のもの、そこについて運営だけをこひつじ幼稚園のほうにお願いしている。保育業務を行っていただいているということで、指定管理になっています。

案の中では、ここで民営化というところも出ているんですけども、これについては、この会議の中での意見としては、民間に譲渡するようなそういうことも想定しているということだったと思います、この報告書の中では。ですから、どこが受けてくれるかというのはありますけども、要するに施設が新しくきちんとしている所については、民間も手を挙げてくれる、そういったところが話し合われて、民営化というような形を目指していくということになっているんだと思います。

・委員

この任期みたいなのは、1年契約という話なのでしょうか。

・議長

指定管理は最低3年ですね。状況に応じて5年というのもあります。

今回は、新たな資料もお出ししたところでありましたので、疑問点も多々あるかと思えますけども、気づいたときにご意見をいただいているのかなと思いますので、時間に限りもありますから、この先の説明もちょっとさせていただきたいと思います。

次に(3)ということで「市内の学校視察を終えた感想・ご意見」これについても、行かれた方、行かれなかった方いらっしゃるんで、仮に何か別に気になるところ、そのときに何か気づいた点、大規模校・中規模・小規模という形で、その中でご意見があれば。

〇〇委員も行かれたんですね。

・委員

2つ行かせていただいたんですけども、どちらの学校も施設・設備的にすごく充実していたなという感想です。特に飯岡中学校は、災害時の拠点としても活用できると想定して造られているということで、すごく考えられて造られているんだなと考えました。あと細かいことだと、wifiがどの学校でも室内であればどこでも使えるということで、そういうところで整備もされているので、いずれこういう子供たちがICTを活用する機会というのがどんどん増えて、学習の中で活用する機会というのが増えてきますので、そのときにすごく整備されているので、十分活用できる環境なのかなと感じました。

もう1点、二中だったと思うんですが、不登校のことを校長先生がおっしゃってたんですが、数的にはどうなのか何%かというのは分からないんですけども、そこをうまく減らしていく努力はされていると思うんですが、再編の計画とかを見させていただいたときに、うまく小中の連携をしていくなかで、減らせていけたらいいなと思います。

・議長

続いては、〇〇委員はいかがでしょう。

・委員

学校の規模によるメリット・デメリットについては、考え尽くされてきたなという感があります。そして、先日伺った4つの学校共ですけど、それぞれメリットを生かして、デメリットを克服する工夫や努力もされているので、ほんとに今できる最大のことが学校でやられているんじゃないかなというふうに思いました。でも、現在に至ってもほんとに随分長い間、小規模校は小規模校なりのデメリットなだけけど、そこに在籍するとそれを良いほうに持って行って、成果を上げたいなという思いが先生方みんなあると思うんですね。そうやってきましたけど、もうそろそろやり尽くしたかなと、という思いがあります。ですから現在に至ってもその工夫とか努力で解決できない、補い

きれない課題もあるんだよと、その事実をやはりこれから私たちはしっかりと見極めて、そこをどうしていくのかなというのが大事なのかなというふうに思いました。これまでの工夫とか努力で解決できないものとしていくつか挙げるとしたならば、先ほど社会性というもの出てきていましたけども、山田の例としても出てきていましたけども、学校教育の究極の目標である社会性を育てるにはある程度の規模がなければやはりなかなか工夫しても努力しても現状では満たされないという部分があると、そういう点とか、それから校長の立場で考えれば、円滑な学校運営をするにはやはり教職員定数が十分に見合ったとおりの数がくることが良いし、小規模校だとなかなか満たされないし、大規模校なら大規模校なりにそれなりの問題があるということを経験先生方からも伺ったので、それもひとつですし、あと働き方改革と先生方の職務との関係、部活動改革とかほんとに考えていかなきゃいけないことなのかな、と思いましたので、そういった事について考えていくことが再編のための大事なポイントになるのかなというふうに思いました。これまでの工夫や努力では解決できないところに来ているなど実感しました。それが率直な感想でした。

あと、最終的には保護者の方々とか地域の方々に納得していただければいけないので、これらの課題を努力してきたけれども残されてしまった課題というのが沢山あるので、それをやはり明確にして、しっかり説明できるようにしていかなければいけないかな、と感想を持ちました。沢山資料を用意していただいたり、4校の先生方には時間を作っていただいて、見せていただいてありがとうございました。

#### ・議長

はい、ありがとうございます。非常に貴重なご意見だと思います。確かに社会性の問題それから先生の数そういったところからの視点でもお話をいただいたところです。あと、地域に対する説明があってそのうえで理解をしていただかないと、その先にはやっぱり進めないのかなと思っています。〇〇委員さんも行かれた。

#### ・委員

はい、行きました。ほんとに大きな学校と小さな学校ですごく差があって、へんな話、学区というのは問題だな、とちょっと思いました。学校の再編をもう根本的に考えてしまって、何々小学校と何々小学校を合併するだけでは数は揃わない。学校の選定についても避難できないような、災害拠点にならないような学校は残すべきではないと感じました。子供たちが避難した時に裏が崖だったり山だったりする所はほんとに論外だと思うんです。そこに避難させることや、子供がいるってこと自体がすごく不安なので、そういう所を抜かしていくと段々と山側ではなくて南側のほうへ持ってくるべきだなと思いました。あと、自転車での通学がほとんどなのですが、送ってもらっている方が多いという、中学校もそうだったので、通える範囲というのを考えないといけないだなと思いました。雨の日なんかで送迎がある時に学校の目の前で子供たちを降ろしたり乗せたりするスペースが無い学校があったので、そういう学校はやっぱり安全面に欠けると思うので、雨の

日は車が人数分来るというのを想定して、場所の選定をしていただければと思います。あと、先生方からすると子供はある程度いたほうがいいというのがひしひしとを感じるんですが、親御さんからみると少人数で丁寧に見てもらっているんだよという話も良く聞くので、両方とも成立させる材料をどんどん増やしていかないといけないなと感じました。

・議長

ありがとうございます。確かに避難所として学校もほぼ指定されていますから、その辺の重要性というのも当然でできます。送迎の件も確かに先週の雨では二中周辺は車が動かなくて大変でしたので。〇〇委員さんも何かあれば。

・委員

私あんまり学校って行ってないんですけど、はじめ二中に行ったときにですね、先生1に子供が1という形でいくつかに分かれていて、こうゆうあれもやっているんだというふうに感じました。それから大きな学校は大きな学校、小さな学校は小さな学校でそれなりの悩みがあるんだなと、例えば運動会をやった時に、二中さんの場合には1つ2つ出るともう次に出るものが無いというような、他の学校からすればちょっと羨ましいくらいのあれかもしれないんですけど、あと部活動が成り立っていかなくなっているんだなということが実感でした。やっぱり子供の数によっていくつかの部活動を無くさなければ他のあれが人数がまとまらないと、1対1のものであればいいんですが、野球みたいに人数が10人とか11人とか1つのチームとして出来ないというのはちょっと問題かなというふうに感じました。

それと今あれですか、大体学校へ通う子供たちっていうのは、親御さんが車で乗せていくんですかね。

・議長

中学生は大体自転車が多いと思います。小学生は徒歩が中心とは思いますが、あと路線バスで通っている小学校なんかもありますね。基本は徒歩ですね、小学校は。

・委員

会社までちょうど10kmあるんですけど、子供を見るのが嚶鳴小学校の信号の所で1人2人見るだけで、あとどこも歩いている姿を見たことが無いです。

・議長

もしかしたら、どこか拠点まで乗せて行って、そこから歩くようにと、そういう感覚っていうのが親御さんなんかあるかも知れません。

・委員

実際、子供が少ないので、一緒に歩いてくれる相手がいないと送ってしまうんですね。やっぱり2人以上で1人では歩かせられないので、地域に同年代とかお姉ちゃんとかお兄ちゃんとかがいる時は連れて行ってもらっているんですけど、その子達がいらない時はもうやっぱり送って行っちゃう。



・議長

〇〇委員さんも行かれました。

・委員

はい、僕が思ったのは、萬歳小さんですけども立地的に山を背負っていて、災害時にはすごい怖いな、という感想はありました。実際問題、先日の雨で八日市場二中さんが崖崩れで実際に被災しちゃっていますので、よく起きなかったなと思っていました。あと、学校の送迎の問題とか結構あるんですが、やっぱり送っていったほうが自分は安心なんですけども、やはり子供たちの体力の低下とか、そのために交通事故の確率が多くなるわけなんです。実際問題、僕なんか小学校が中央小なもので、中央小っていうのは狭い道を送って行っちゃいますので、すれ違いがわざわざ停まっている車を避けるために飛び出しちゃったりとか、そういうのがありますのでちょっとルールは考えたほうがよろしいかと思います。あと、中学校なんかだと旭二中なんかは市役所通りが大混雑する。なんでこんなに渋滞しているんだっていうくらい雨の日は渋滞しますので、そこらへんは学校さんにはよく言っているんですけども、親御さんもよく考えたほうがいいのかと思います。

・議長

〇〇委員さん。

・委員

今日はちょっと遅くなってしまい申し訳ありません。先日4つの学校をまわってもらって、率直な感想としては、各校長先生からですね、実態の話をいただけたのですごく参考になりました。やはりお話があったとおり、中学校は部活動の関係ですよ、特に飯岡中さんは部活をある程度廃止に向けて地域にも話をしているということなので、子供たちにその部活をやりたいかという子がいるところでは非常に残念な状況かなというふうに思います。小学校については、私の意見というわけではありませんけども、山田小の話の中にも最後ありますけど、やはり地元には学校があるというのは、地元にとってのある意味拠点になりますので、その辺もちょっと考えていく必要はあるのかな。ただ、中学校については、今言ったように団体生活を学ぶ時期でもありますので、やはり部活動がある程度成立していかないと厳しいのかなと思います。

・議長

〇〇委員さん。

・委員

私いつも嚶鳴小の脇を夕方から夜にちよくちよく通るんですけど、そうするといつも嚶鳴小は電気が7、8時くらいまで点いているんで、4月から確か働き方改革が始まったんですけども、なかなか先生方も帰る時間が無いようで、大変だなと思いました。あと中学生になるとやっぱり土日の部活もだいぶ無くなってきているみたいなんですけども、それでもやっぱり先生はそういうのもやっているんで、先生方の仕事の仕方がカギじゃないかなと。私からは以上です。

・議長

今、〇〇委員さんから色々ご意見、感じたところ、お話いただいたところですけども、その中で気になった点等あれば、意見交換をしたいと思うんですが。確かに部活の問題であるとか、社会性を育てる、学区の事も出されました。あと災害の件、非常に重要な問題もいくつか入っていたと思います。それらを含めて、一応、今日は行政の案ではありませんけど、例ということで図面と表を出していますので、ここの所も説明を受けて、その上でまた意見交換をしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、議題の「(3) 再編例の提示、説明」ということで、これもお願いします。

・事務局 議題(3)

「再編例の提示、説明」を配付資料により説明

・議長

強烈な印象を受けるかも知れませんが、行政改革推進課が案を考えたもの、それを今回何も無くともということで、例示ということでお示しをしました。具体的に申し上げますと、子供の数が減っていく、確かに中学校においては部活動もほんとにままならないという状況を考えてときに、中学校が再編しなければならないんだらうなど、そこがあると、今度そこに付随して小学校という形にはなってくるのではないかと思います。あとは、この図に囚われなくて結構ですので、自由にご意見いただきながら、こうしたほうが良いんじゃないかと、そのようなご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

・委員

行政改革を推進していく側としては、こういう案も必要だと思います。そこで質問なんですけど、基本的に統合・再編はやらなきゃしょうがないという考え方なんでしょうか。それとも、まず、この策定委員会自体は、とりあえずこのスタートは今の現状を見て、これから考えるということだと私は思っているんですけども、こういうのが出ちゃうと、もう統合・再編ありきという感覚になっちゃうんですけど、私先ほども申し上げたとおり、小学校はまだそこまで旭の小学校は切羽詰っているのかなという、他の自治体と比べると複式学級とか、そういうのが発生しちゃうとこれはしょうがないな、と思うんですけど、まず萬歳小学校さんが一番小さいところのなかで、1クラス20人くらい、先生とか子供の立場からすれば丁度いいのかなという話がこないで行った時にも皆さんからもあったと思うんですけど、そこまで切羽詰っているのかどうか聞きたいのと、今言ったように基本的に再編はしていかないとしょうがないのかなという確認をさせていただきたいんですけど。

・議長

私が答えたいと思います。小学校のほうなんですけども、この表の中で特に干潟地域の中和・萬歳・古城、これは令和22年になりますと、それぞれ子供の数が44人・46人・73人という形になってしまいます。これはひとつの学校として成り立つレベルを超えてしまっているのではない

か、そうするとここだけ統合すればよいのかということではなくて、少なくともその上でも例えば滝郷も59人になってしまう、鶴巻も92人になってしまう、実は令和22年でこうなんですけど、この先もう少し経ちますと、もっと厳しい状況になっているというところがあって、この時点でもしかしたらまだ複式学級になっていないかもしれませんが、それは今から考えていって、この時期までに何とかしていかなければいけないだろうと、そういうこともあって、今回再編という形を出しているということです。特に干潟地区の中学校は非常に危機的な状況という大変なんですけども、中学校自体が、ほとんどの部活が休止しているようなそういう状況もあって、それではやはりまずいのではないかと。そうすると、何らかの形で再編の考え方をまず示して、じゃあ、いつまでにやるっていうのは、確定したものではありませんけども、少なくともこういう道筋をつけて、こうしていく必要があると市民に示して理解してもらおうっていう、その事を始めないとその場では出来ないという、ということになりますよね。ですから今からやって現実に令和22年にできるかという、令和22年でもたぶん厳しいと思いますけども、その先も見据えてということで議論していただければというのが今回のこの委員会の設置した理由というのがそこにあるということです。

#### ・委員

結局、先を見てということですね。中学校はどうしても早くやってあげないといけないなと感じているところもあるんですけども、小学校も表を見ると当然こうなってくると見えてくるので、それを見据えて統合委員会として検討していくことだと思います。

#### ・議長

たぶん地域の中で、こことこことをまとめますよ、と単純にそうやって持っていったときになかなか理解を得られないのかなということもあって、今回説明の中でも、例えばちょっと特色を持たせてというような形があって、小中連携してというような話もあったと思いますけども、特に干潟地区と共和地区あたりのところで、ひとつ干潟地区だけで中学校が成り立たないのであれば、それはどちらかに寄せてこなければならぬだろうと、そういう考え方できたときに、寄せてくるにあたって特色を持たせるとしたら、思い切って造るなら小中連携で1つ近接したところにあってもいいと思いますけども、そういうものもひとつドンと造ってやると、もしかしたらこの学校に行きたいという子供たちが出る可能性もあるんじゃないかと、これは私の勝手な話ですけど、そういうこと意見として出されれば、それはひとつ案だろうと、あと、中学校の学区、3つお示ししましたけれども、これをみんな凸凹があって、これでいいのという感じもあると思うんです。逆に中学校も6kmという通学距離も規定がありますから、そこの中でちょっと出っ張ったところをもうちょっとこういうふうな、その辺の学区なんかもう少し見直したら良いんじゃないかと、そういうご意見も出ればそれはそれで良いのかなとか、いろんな事を想定しながらいくというのがひとつ必要なのかな。先ほど中学校は4クラスで420人と言っていましたけれど、現実にそれを維持

していくとしたら、現実に3校になり得ないですよ。そうするとそれ以上に統合するのは無理なんじゃない、それだったら3クラスでも良いんじゃないかと、3クラスであれば315人で済みますので、当面3つあればその先もう20年くらいはいけるんじゃないかとか、そういうことまで踏まえて考えていく必要があるのかなと、そのようには思っています。ただ、今回の会議に関しては、ある程度再編のイメージを持って臨むしかないのかなと、そういうことです。近隣がやっているからとか、そういうことではなくて、どうしてもやっぱり少人数のなかでやれば子供たちに目が届いて良いんじゃないか、そういうご意見もあるんだろうと思いますけども、それだけでなく、少なくとも学校として運営していくうえではある程度の規模はやっぱり必要なだろうというのは理解していただいて、進めていく必要があるということを経営の立場では思っていますし、当然子供たちの面から、保護者の面からも思っている。じゃあ、そこで課題になるのは何かといえば、通学の問題だとかということになると思うので、そういうところも解決しながらという、そういうご意見をいただければと思っているところであります。

実はこの例示を出すにあたって、会議資料ですので、現実にはこれが公開の会議ですので、資料が出てしまいます。ホームページ等載ってしまうんですよ。そうするとまた反響が現実にはあるんだろうと思います。ただあくまでも例示という形を取らせていただきます。

・委員

そこはちょっと大事だと思うんですけど、例示ということを経営していただいて、これが一人歩きしちゃうと大変なことになるので。すごく大事な事だと思います。

・委員

これは、市のホームページに出るって事ですか。

・議長

出ます。この会議自体が公開の会議になっているので、例えば傍聴人がいれば傍聴されるんです。ということなので、この資料は必ず再編委員会の会議資料ということでホームページに出ます。

・委員

そういう意見をいただくのは良いですよ。それをたたき台として意見が出ればいいですよ。

・委員

この再編例というのは議員さんも見ていない。先生とかも誰も見ていないということ、今まで誰も見ていないということではよろしいですか。

・議長

はい、外部の方は見ていません。行政の内部でもこんなにはっきりと出されたものではなかったんですよ。行革の案というのは、それぞれの施設を概ねこの辺にあるだろうというのがあって、それをこうやってくっ付けたらこうなるね、というのを具体的に書き表してみたらこうなったという、そういう例示だったんですよ。だからここまで具体的に作っちゃっていいのかってどうか、という

のは確かに議論あったんですけど、これまで行革自体のポンチ絵みたいな案があって、そのポンチ絵を地図に落とすところになったということなので、ポンチ絵はもう見ている方は相当います。ただ、そのポンチ絵からここまでの想像力を働かせて、この絵になるかっていうと、具体的に出てこない想像的に難しいところはある。

・委員

児童数の推移なんですけども、民間の団体に委託してこれは出た数字だって聞いたんですが、どいう算定でこの数字が出たのかなというのを教えていただきたいです。

・事務局

国勢調査が5年ごとにやっています。この国勢調査のデータを基に社人研というデータを解析しているところがございます、社人研として人口推計のデータを出しています。その社人研の数字とありますが、年数がですねはっきり覚えていないんですけども、もっと短いです。短いものを少し先を伸ばして2060年までの推計を出していただいて、そこをまた社人研で出している年齢層が小学生と中学生を分類できるデータではございませんので、そこを小学生と中学生の年齢、6歳から11歳と12歳から14歳までの年齢の分類に分けていただいて、それで各歳ごとの学年の人数を出してもらった形で、これを各歳ごとの子供たちの人数を出していただいた形になります。ですから、ベースは国勢調査の数字がベースになっていて、その人口の減ったりというカーブを推計して先まで延ばしてその中の子供たちの刻みの年齢を、またその中で細かく推計していただいて、この数字が出るということです。ですから闇雲に数字を出したわけではなく、ベースは国勢調査、そこから人口推計を出している。以前、総合戦略で使っていました、今年までの総合戦略で使っているデータは平成22年の国勢調査のデータで人口推計をやっています。それを直近の平成27年度の国勢調査のデータを基に新たに解析しなおしていただいたものが、この数字ということです。

・委員

ではそういう数字を当てはめていって、こういう予想した数字がこれだということで、この地区の特性とか越境とかそういうのは全然考えずにやったその地区の人口ということですよ。

・事務局

地区の事を考えて考えないということではなく、国勢調査は旭だったら旭全部の数字をざっくりやっているわけではなく、国勢調査の地区割りがございます。その地区割りのデータが積み重なって旭の全部のデータとなります。ですから旭の国勢調査の小さい区分けの中の数字を、減っていく曲線の中で数字を動かしていってということで、一応その細かいエリアでの調整もちゃんとやっています。

・委員

区域外就学ってあるじゃないですか。そういうのは加味している数字ではないですよ。

・事務局

そこまでは、データを読めません。

・委員

先日、視察のときに嚶鳴小の先生が50～60人の区域外就学がいるってお話を言っていたので、もしかしたらその人数が変わることもありますか。

・事務局

あくまでも推計でございますので、実数の区域外就学の人数を足すことはできません。

・委員

全体の大きな人数が変わらないですけど、区域外就学で移動することは含まれていないですね。ちなみに、それを考えてやっちゃうと学区も危ないということですね。

・事務局

以前の学校のあり方検討委員会の中でも、人数が減ってきますと、偏りが出てくると、急激に子供たちの人数が減る場合があるとか、そういうお話も出ておりました。ですから周りのお子さんが減ってくると、ちょっとここではなくて違う学校に行きたいなというふうに思う方も保護者としていらっしゃるようなところの話も聞いております。

・議長

ご意見あれば何でも良いので。

・委員

このところ、立て続けに災害が影響がでていまして、おそらく千葉県の人口が減ってしまうんじゃないかという川が氾濫して山が崩れて、というような雰囲気があって、銚子もしぼんできていて、旭のほうへも影響がありそうだし、今後人口というか住みたいと思わせる街であるという事自体が影響が出てくるような気がしてならないんですけども、房総のほうもおそらく人が住める所が少なくなってくるんじゃないかと、今後、台風の経路として、千葉県の上空は外せない状況となっておりますので、それを踏まえていくと、移ってもらえる、来てもらえる、そこに住みたいと思わせるような学校づくり、子供をそこで育てたい、仕事の場所がある、そういう魅力のある都市を作っていくかなくちゃいけない、というのが大前提だと思ってるんですけども、それを踏まえて考えていただければなと思っております。1点、学校の再編で〇〇小で〇〇小への矢印が出ているんですが、もともと〇〇小は用途が転換できるような建物で設計していると伺っております。そうすると、〇〇小から〇〇小への矢印、逆でも良いのかなと、でこの逆で考えた場合、学区外・学区内関係なく〇〇小も4km圏内に入ってくるので、ここらへんは変な話まとめると、丁度一中エリアにもばらけられないで行けるのかなと。個人的に思いました。

・議長

はい、ありがとうございます。今のご意見にすれば、〇〇のほうでまとめれば、〇〇も入ってこ

れる、**■**は建物自体が転用が効くのではないか、そういう話で、そうすると**■**のほうに新たな学校をとということで。

・委員

4 km圏内であれば、この**■**小にはみ出てしまった所は仮に**■**小のほうにお願いしてもいいかも知れないですね。学校も4 kmベースというのをまず大前提で考えて、中学に上がる前の段階でそのある程度の学校を再集約してもいいんじゃないかと思います。

あと、上の**■**地区のほうなんですけども、**■**小もやっぱり今回の大雨の時に避難勧告が一番早く出たんですね。あの山際のところ。やっぱりそういう所は統合の先に白羽の矢を立てるのは無理があるのではと思いました。

・委員

行革推進課長の立場でこの原案を作ったほうから、**■**地域の**■**小のほうを説明します。先日視察で**■**小を行かれたときは、ほんとに裏山全部が山でございませう。**■**小も同じように全面が山でございませう。**■**小につきましては、体育館の一部に小高い山がある程度なので、それにつきましては、土砂の撤去等によって対応できるのかな。それ以外は**■**小のほうはある程度平地なものですから、案としましては、当初の説明にもありましたように施設自体が新しいということもありまして、とりあえず案としては**■**小のほうに統合しようという案を設定させていただいたものです。確かに体育館の一部は山が併設はしております。ただ、他の2校と比べますと度合いが低いということになります。ほんとは、もっと許せば平らな所へということもあります。

・委員

統合の中学校に、これ考えたときにすごく自由な校風ができる小中学校を建てるならここじゃないかと思うんです。どんなものでしょうか。

・委員

内部的にも色々な意見がございませうけれども、それはこちらの会議で色々な意見を出してもらって、このような希望の持てる統合、中学校・小学校・保育園も一緒というような考えもございませうので、そういったものも取り入れていっていただければと思います。

・委員

そうですね、幼児教育も最高ですね。

・議長

その他、ご意見ありませんでしょうか。

・委員

統合後の統合しなかった学校は、廃止・流用または民間活用とあるんですが、人が減っちゃうなかで、また建物だけ残しておいて、人件費もかかる、最終的には先生方の受け皿になるということにもなり兼ねないので、そこらへんは、よく検討されてから記載されたほうがよろしいんじゃない

かなと、明確に記載されていて、皆さんが見れてしまうもので、どうなのかなと思いました。

・議長

確かにそれぞれみんな「廃止・流用または民間活用」というようなそういう書き方をしているから、この辺はちょっと今回資料だからあれだよ。そこのところは、そういう意見もあるということで記載するか。現実には再編を進めなければいけないというところがあるんですが、もう少し良い案があるとか、こういう方向性があるんじゃないかとか、そういうことがあれば、ご意見いただきたいのですが、いかがでしょうか。

・委員

率直な感想なんですけど、目先の小さな統廃合を繰り返すよりは、やっぱり少し先を見て大きな事を考えていったほうがいいなと日頃から思っていたもので、今日これが出たときに、これはたたき台ですけど、このぐらいざっくり先を見た案というのは大事なんじゃないかなと思いました。これで今日見ただけでも色々と課題が出てくるわけですけども、例えば今困っているさし当った課題を抱えている学校があるので、そこを統合して、ここはそのままとやっていくと、たぶん何年後かにまたどっかを統合しなければならなくなると思うんですよ。だからそういう意味では、また10年かけてと言っていましたけど、旭はそれ以上かかるかもしれませんが、しばらく先を考えてやり直さなくていいような再編、特色のあるいい教育ができる再編ができたらいいなと思って。今日はこれから課題をみんなで考えていくにしても、この案は今の段階で良かったんじゃないかなと思います。

・議長

ありがとうございます。〇〇委員いかがですか。

・委員

これがホームページのほうに出るとのことだとすると、委員の皆さんが心配されているように色々な意見が出てくると思うので、ひとつの方法として、例示なんだけれども意見を吸い上げる事によって、地域の要望も出てくると思うんですよ。統合に反対、自分の学校が無くなると反対の人もいるんだけれども、この旭のところにもこうなりますよと書いて、それを見て子供たちの教育を考えたときに、やっぱりこれは少し大きな規模で学ばさなきゃいけない、また中学校で部活動が現実減っているのが事実なので、人数を増やしてもっと大きな所でやっていきたいというような要望が出てくると思うので、それをうまく吸い上げていって、進めていくと進んでいくのかなと思うんです。

京都市のほうで再編するとき、人口がどんどん減っていく中で、これから小さい学校になるとこういうふうなメリットもあるけどデメリットもありますよ、というのも地区の学校とかPTAとか自治会に配ってよく読んでいただいて、逆にその自治会やPTAから意見、要するにここをこういうふうにしていきたいので、学校を統合してください、というようなものを市で受け取ってそれ



を基にして、逆に市のほうが地域の要望を受けて統合していくという流れを作っている、という動きもあるので、この後進めていくなかで、地域の意見を入れながらうまく行政のほうの考えと統合していったらいいのかなと思いました。

・議長

ありがとうございます。なかなか議論も進まないところもあるんですが、例えば中学校については、この[ ]ブロックぐらいで配置したらどうかという例示を示しました。小学校なんかそれぞれの思い入れとか色んなところがあって、結構細かい地域に分かれているので、そのところの議論というのは、まだまだもっと理解を得ていく必要があるんだろうと思うんですが、例えば中学校は[ ]校程度に集約する、そういう案に対して、委員の皆さん率直に賛成、反対その辺のご意見をいただければと思うんですが、いかがでしょうか。〇〇委員、どうですか。

・委員

自分の地区だと、ちょうど[ ]で、今の[ ]中か、前あった[ ]中で話が出ているんですけども、私は、[ ]地区の人たちがバスで来るのか、交通手段がどうなるのか、[ ]の人は良いんですが、[ ]の人がどう受け止めるかはあると思うんで、中学校が小学校に変わるみたいなので。

・議長

[ ]中、出来たばかりなので、色んな意見はあるんだろうと思いますけども。小学校にしても[ ]のところから4 kmの半円を書くと、実は[ ]全部埋まってしまうんで、通学区域にはなり得ると思います。第1回の時にもお話したかもしれませんが、保育所が3箇所公立のやつが、台地のほうと、東のほうと西のほうにあったのを、[ ]中のすぐ南側に1箇所を集約して、保護者は誰も文句も言わない、逆に喜んでいう、そういう状況のお話をさせていただいたんですけども、もしかしたら、新しい校舎で統合小学校ができて、そうしたときに今度中学校の話を出したときに、ちゃんとスクールバスを出しますよ、という話をしたときには、もしかしたら理解を得られる可能性はあるのかなと、もしかしたらここはやりやすいんじゃないかと。逆に[ ]のほうと[ ]のほうをまとめるほうのが、もしかしたら難しいのかなと、旧[ ]と旧[ ]、ただ、中学校に関しては、やはり今の5つ制を維持していくのは非常に厳しい状況なので、出来れば[ ]校程度にしていきたいのは、ここの議論抜きにしてもある程度考えていたところではあったので、小学校については別にして。

・委員

思いを優先させてもらえば、小学校は全部残してもらいたいんですよ。みんなそういう思いを持っていると思うので、私たちはこれから、どういうことをみんなで考えていったらいいかって、道筋はまだ決まらない時点でもしこれを公開となると、たぶんここにいる皆さんは冷静に見てもらえますけれども、先をみているんだからこのくらいはと理解は出来るんですけど、保護者の皆さんとか地域の皆さんがいきなりこの資料を見たときには、やっぱり思いが優先されると思うので、一

気に意見集約の段階に入っちゃうと思うんですね。公開の仕方のもこれはこのまま出るのでしょうか。見たらやっぱり穏やかでないと思うんですね。だからやっぱりどういう経緯でこれを出すかということとか、ほんとにこの思いを除いても10年先にはこうなっちゃうんだという切実なところをしっかりと伝えなくちゃと思うんですけど、ホームページだけでは無理かもしれないし、ちょっと難しいなと思いました。

・委員

この例示が学校再編委員会のほうで決まったと思われるとしょうがないので、そのやつじゃなくて、違うところの例なんだよと示していただけたらうれしいんですけども。行政のほうでこういう計画を立てましたと。これただ見ただけだと、僕たちが作ったやつを検討していると思われちゃうんで、これはよろしく願いいたします。

そうでなかったら、いたずら電話とか個人的にかかってくると思うんで。前回、市の合併のときに協議会に入った人が、やっぱりそういう形で嫌がらせを受けたと聞いてますので。

・委員

中学校■校という話なんですけど、中学校■校だと数的にも丁度いいかなと思いはあるんですけど、具体的なものを見るまでは、■校ということは、■中学校は今小規模になっているので、どこかに統合されて、そうなる■の皆さんは穏やかじゃないだろうなと思っていたところに、大きく■つに分けてくださったので、■中のあるところは新設かもしれないという話もあったので、色々苦労されて配慮のある案なんだろうなと思うんですけど、一気に全員にわかってもらうことは難しいと思いました。

・議長

皆さんのおっしゃるところ、危惧するところ十分わかります。

・委員

これ例えば、策定委員会で案を作ったらパブリックコメントとかに出すってことですか。

・議長

再編の案が出来れば、それはパブコメに出します。

・委員

そういうなかで、これを出すというのは、さっき〇〇委員もおっしゃったとおり、この委員会で出たものというふうになっちゃうと、一人歩きしちゃうんじゃないかなと思います。

・委員

いま全員の方にご理解をということですけど、これは絶対無理ですね。全員みんなが良いよってというのは、絶対無理だと思います。でも、今のままではしょうがないとなれば、ある程度のところでやる時はやるって形でなければ、いつまでたっても令和20年だろうが30年だろうが50年だろうが、ずっと決まらないと思うんですね。だからある程度のところでは、ここでやりますと

いう事が必要かなど。もちろん色々な意見を聞いて、最終的にはこういう形にしますとか、ある程度の時には決断するときにはしなければならぬというふうに思います。

・議長

今回、再編の例をお出ししたのも、再編委員会と言いつつ、たぶんここでどういうふうにしたらいいですか、というのを1から決めていくというのは、たぶん無理だろうと、そういう事があって、それならば何らかの形でもたたき台がないと、その先の議論には行かないという、そういう思いもあったので、今回事務局のほうで用意してもらいました。行革のほうが兼ねてより、実は今年に入ってから課長会とかでも、例えば施設の統廃合、行革は色々な公共施設全てを統廃合していきますよってということで、それで考えていた。そうすると学校施設はやっぱり手を付けない訳には行かないだろう、子供たちの数の関係もあるし、ということでポンチ絵みたいなものを作った。それはもう課長会とかには出ているんですね。ですからそれを具体的にしてしまったので結構これが出たら、というそういう思いはあるんだと思うんですけど。ただどっかの段階でこれは出て行かないとしようがない、仮にこれが出なくてもここの中で話し合っ、例えば中学校は今の5つのままで良いですよという議論でそこに進めば、それはそれでいいんですけども、ほんとにそれで良いですかというところを突き詰めていくとやっぱりどっかでまとめていかないといけないんじゃないかという、それをまとめていくっていうのを出した途端に、じゃあ、どういうふうにするの、ということになってしまうので、やっぱり話し合うための種なんですけど、これを公開する・しないの所はちょっと微妙なところもあるので、場合によっては行革のポンチ絵みたいなものを出したほうがもしかしたら良いのかもしれないんですけど。

・委員

この再編委員会のスケジュールがわかって、それがきちんとスケジュールが示されて、この段階でこれが出てきたというのであれば、これはまだ案なんだなとわかるから、ここのスケジュールを決めてもらいたい。

・議長

そこのところも、きちんと明示して進めたほうがいいかな。

・事務局

事務局の案として、会議録のほかに再編例を添付して閲覧をかけるということなんですけども、会議録のみでということで、この会議の中で諮っていただければというふうに事務局の案として提示させていただければなと思います。

・議長

会議録のみ。公開すべき段階ではないということで。

・事務局

はい、今後の会議に不都合が生じるということであれば。

・議長

まだこれは、確かに出てしまうとちょっと、どのような反響があるかも掴めないところもありますので、今回、説明したところ、それから内容について、会議録という形で、その部分は会議を実施しました。その会議の中ではこういう話し合いが行われました。そこは、お出しするということによろしいですか。そうすればこの資料はまだ出ないという形になります。委員のみなさんもそのほうがいいのか。

……………委員了承……………

・議長

この先の議論を進めるにあたって、今回、例を示しましたが、それぞれの委員さんの思いとして、例えばこういうのがいいんじゃないかというのが仮にあったとすれば、次回発表できるとかそういうところは可能でしょうか。

・委員

実際自分がやりたいと思っている事に関してどのくらいの予算がかかるのか、とかっていうのがあるので、実際に新しく統合されたものを建ててもらいたい、じゃ土地は市の持っているもの、建物は2億かかりますよというところになると、どういうコンセプトというところになると、もうお手上げですよ。どういった意見を述べればいいかわからない。

・議長

そうするとやっぱり、できそうなものという形で考えてしまうと行政がある程度案を作らなければしょうがない、事務局のほうである程度たたき台を持っていかないと難しいだろうなど。

・委員

実際この統合案で出てきたものに関してだと、施設面積としてはどのくらい減るようになるんですか。20%目標でしたっけ。

・委員

施設の面積です。

・委員

そのへんから目標をお願いしたいというのが頭にあるのであれば、そこを重視してもいいと思います。

・委員

市全体では、公共施設の面積を2割程度減らそうという目標はありますけども、学校が占める割合が半分以上ありますので。統合して更に残された学校が廃止ということになれば、面積的には数字は持っていないんですが、だいぶ大きな減少にはなると思います。

・委員

目標20%というのはあまり言わないほうがいいですよ。もっと減るわけですから。

・議長

20%というのは、あくまでも減らしたい目標であって、現実的にこれをして減らすということだけではないので、少なくとも学校としてどういう形が望ましいのかという、そこの視点があって初めてその結果として面積が減ったという、そういう方向になるもので。

・委員

こういう学校を造ってもらいたいと言って良いのかというところですよ。そしたら、こういう先生たちも欲しい、部活が足りないんだったら外部の選任講師を入れれば良い、そういう話になってくる可能性もあるじゃないですか。

・議長

それもご意見として伺って、外部の講師も入れるという意見がありました。ですけどもそれが実施できるかどうかというのは、また今度は最終的には予算との絡みになってしまうから、すべて実現できるということは確約できないなかでの話になってしまいます。

・委員

どういう意見を述べれば現実的な構想が進んでいくのか、そのへんが全然わからないんですよ。

・委員

でもやっぱり思いを届けるのが大事ですよ。こういう学校にしてほしい。いま〇〇委員がおっしゃったみたいに。出来ることと出来ないことがあるんだったら、みんなで考えていけばいいから、まずはその思いは届けるべきなのかなと思います。

・議長

ご意見として、こうしてもらいたいというのがあれば、それは最優先で受けるということは重要です。

・委員

市のほうの計画では小学校は小学校の統合、中学校は中学校の統合、別々に考えていますけども、小中一貫校という考えも視野に入れながら、そうすれば 地域なんか小さくなっちゃうかも知れないけれども、まだ抵抗は少ないんじゃないかな。違う学区と統合するとか、位置的に考えてそういうのを検討する価値はあるのかなと思います。

・議長

小中一貫校ということで、例えば 地域ではそういうものもあるんじゃないかと。

・委員

違う地区でも人数が少ないんだったら、違う学区から統合するんだったら、 の中で統合するんであれば賛同が得られる可能性があるんじゃないかなと思います。

・議長

その他ご意見は。それでは議題に沿っていきますと、「(4) 再編計画の方向性について」という

のがあるんですけども、ここの部分は事務局から説明があるのでしょうか。

・事務局

再編例を見ていただいて、フリートークをというところで各委員さんのご意見をいただければなという話だったんですが、なかなか絵だけではイメージできないのかなというところもありますので。

・議長

そうすると、ある程度、事務局のほうがもう一度たたき台的を作って、それについてご意見を伺うという形を取っていくことになってしまうのかな。ただ、今いただいた意見のなかでも貴重なものもありますので、配慮しなければいけないもの、それから小中特色を持たせるとか、そういうところもありますし、あと中学校に関しては部活の関係なんかは危機感を持ってらっしゃる、そういうこともある。ただ、小学校については、通学距離の関係とか様々な面で、まだまだそれでいいと言いつらいところも現実にはあるということ。そうするとある程度、こういう形でいかがでしょうかと諮る必要は現実にはあるかもしれない。もうちょっとここの部分を精査して、パターンとしては1つしかないの、今回これをお出ししているの、ここから派生させて、いくつかパターンを作って、それでまたお示しする、そういうことは可能かな。

・事務局

今日、また委員さんから意見をいただきましたので、そういった作業をしていただきたいと思います。また、一番最後に現況図のほうを付けているかと思しますので、またその辺、生徒数を見ながら委員さんのほうでもイメージできたらなと思います。

・議長

なかなか、意見をまとめるという方向にいきませんので、今日は再編例を示しました。ここについて、意見をいただいた中で、それを取り入れてもう少し、事務局のほうでパターンとしていくつか出して、ご意見をもらおう。そういう形に持っていきたいと思えますけれども、よろしいですか。

・委員

このパターンを作るのも大変だったと思いますよね。

・議長

これは、もともと行革が作ってあったので、それを図化しただけなので、これは元々出来ていたものなんです。これを更に分解して、組み替えていくとなるとちょっと手間がかかるかなと。先ほど、〇〇委員さんが ■■■ 小ではなくて ■■■ 小にして ■■■ 小もこっちに持ってきて、そんな話もありましたけども、そうしたときにどういうパターンでできるのか、そうすると例えば、今の学校の築年数とか、そういうところも勘案していくと、新しい学校をいくつ建てなきゃいけないとか、仮にこれでやったときには、新しい学校をいくつ、今ある学校を改修してそういうことまで、踏み込んでもしかしたら整理できるかもしれませんので、そこまでいってしまうと、ほぼ再編案になって

しまうんですけど、現実にはなかなかそういうところも出していかないと、ご意見としてまとまらないかなと思いはあります。

・委員

1個、手段としては、いま中学校 校でたんですけど、1つ頑張って先行でやってみるっていう。その例が良かったから、他のやつもやってみるじゃないけど、順番決めてある程度一番良い結果を残せそうな所から手を付け始めるというのも有かなと思うんですけど。

・議長

当然、全部一回には出来ませんので。

・委員

あと、学校って1校造るにいくらくらいかかるのか全然見当が付かないですけども。

・議長

最低でも20億くらいですね。

・委員

中学はもう少しプラスくらいですか。

・議長

中学はもう5割増くらいかな。飯岡中学校は30億くらいかかっているんだっけ。

・事務局

土地からなので、もう少しかかってますね。35億ぐらいは出ているかと。

・委員

飯岡中は確か国からの補助があって。

・議長

はい、ですから市の持ち出しはほとんど無しで出来たんですけども。

・委員

ひとつ、学校の再編の案を考えたときにですね、実はネックがあるのが、 中学校というのがほんとに大規模で、先日視察に行ったときも意見がありましたけども、体育祭なんかですと1人1行事しか出来ないといったことで、大規模校なりの問題点があるということなんですけども、 が真ん中にあることで、結果的に が半分に分かれる案になっておりまして、他の中学校は や の中学校は一緒になるという案ですが、 だけは分割という案になっています。これは、行革のほうとしていまのところ、こうせざるを得ないということを申し添えます。個人的ですけども、小さな規模の学校であったり、大きな規模の学校であったり、視察しましたけども、子供たちはその中でまったく不自由なく生き生きと生活しているように見えましたけれども、やはり旭市全体としたら、これからの学校の規模は出来るだけ均等にするのが、本来なのではないのかなという考えもございまして、こういったところを考えて、 のほうは今回の計画では分割というような手続き

だったということを申し伝えたいと思います。

・委員

私らがここで、色んな形で考えていると思うんですけども、子供たちは子供たちで初めて小学校行くときに、合併したところに行けば、それはそれなんですよね。初めて行くところが、今までの学校に行くのか、新しく統合した学校に行くのか、ということだけであって、子供たちからすればそんなに大きな問題じゃないと思うんですけど。

・委員

大人ですよ。自分が通った学校が無くなるっていう地域の思いがね。

・委員

それはみんながオッケーというのは絶対無いと思っているので、でもそれをやっていかなければ、私はこれ結構いいなとは思っているんですけど、ただ、私は■■■と■■■のところなんですけど、先ほど言われたように■■■学区のやつを半分にしちゃうとか、そういうところの人たちは、ちょっといろいろ考えるものがあるんじゃないかなと思いますけど。旭市として4つが一緒になったわけですから、最初は色々をあるかもしれないですけど、そうなればなったで何とかなっちゃうんじゃないかなと思うんですよ。全員がオッケーは絶対無理ですから。

・議長

いま〇〇委員さんが言われたように確かに全員が100%賛成するというのは、なかなか難しいということであれば、ある程度の案を作っていく必要があるのかなと、その中でご意見をいただきつつ、当然、少数意見であったり、付帯意見であったり、そういったものを付けて委員会の意見としてまとめていく必要があると思いますので、その辺は、みなさんのご了承いただきながら、進めていきたいと思っています。先ほど申し上げたとおり、次回会議をいつごろ開けるのかなということなんですけども、その中でもう少しパターンのものをいくつか作って、それでお示しできればと思いますので、よろしくお願いいたします。

・委員

確かにそういうふうに、いくつかのパターンで色々やったんだよ、ということで理解してもらおう。これだけっていうと、ちょっと待てとなる。

・議長

今回はとりあえず例示案で1つだけしか、示しませんでしたので、そうするとこれで決まりみたいな感じになってしまうところもありますからね。

・委員

要は押し付けになっちゃうんで、いくつも出たんだけど、それでもこれでよかったんじゃないのという、色々みんな議論したんですよ、理解してください、ということも言えるかなと。



・委員

ひとつだけ確認させてもらいたいんですが、小学校の資料の4-2で全体のコンセプトを申し上げた中で、今の小学校の学区変更をしないことで、いまこの案を作りあげていますが、この辺はどうかということですが。

・議長

崩さないとパターンは作れないよね。

・委員

なかなか均等には非常に難しいですか。

・議長

均等でなくても、ある程度地区ごとに出入が結構あって、凸凹していますよね。■地域なんかも出っ張っていたりして、■小のほうの取り扱いであるとか、■のほうが■地域と■小に挟まれているいわゆる■という区域もあるし、そういった所だって、場合によっては整理していかねばなかなか難しいというところもあると思います。今日は、現状と例示を示してみなさんご意見をいただいたんですけども、やはりこれ、というという形ではなかなか進めません。そのところは、もう少しこの絵を見ていただいて、さらに思うところがあれば次の会議で出していただければと思うので、よろしくお願いいたします。

・委員

この再編例ですけども、これがそのまま外へ出てしまったら、これで決まったというふうに思われて混乱を生じると、これ自体は部外秘ということでよろしいでしょうか。

・議長

はい、委員さんにおかれましても、まだ外部には出さないようにお願いいたします。次回の会議は。

・事務局

長時間にわたりありがとうございました。先ほど〇〇委員よりも資料の確認をということで、お話がありました。会議のほうでも諮っていただいたんですけども、資料4以降の資料に関しては非公開ということで、会議録のみを公開させていただきます。

次回：先進地視察（事務局案：成田市立下総みどり学園、香取市山田小学校）

日程は再調整

・議長

そのほかございますでしょうか。なければ、長時間にわたりありがとうございました。以上で会議を閉めたいと思います。